

- 2006年、教皇ベネディクト十六世は、グレゴリアン大学を訪問され、イエズス会のグレゴリアン大学に課された任務の中で、諸宗教研究が優先課題であると言及されました。
- 2008年6月8日、諸宗教対話評議会総会に当たり、教皇ベネディクト十六世は演説の中で、実りのある対話を促進するためには、自らの信仰について「よく育成されている」ことと、相手の信仰について「よく通じている」ことの重要性を強調された。さらに教皇は、諸宗教の活動に対して教会が特別に識別しなければならないと注意を促されました。

## プログラム

毎学年度、本研究所は次のテーマについて講座を設ける

- 諸宗教研究入学
- 諸文化・伝承・宗教の基本の教典
- alterità, 文化、宗教、理解、という概念についての哲学の研究
- 諸宗教の共存や論争の歴史
- 教理神学的養成をめざし、カトリック信仰に適切な純理学的省察
- 霊的な養成

## 文化宗教学際研究所 (ISIRC)

### 諸宗教対話の専門家を育成する

文化宗教学際研究所はグレゴリアン大学の活動の一部です。ここでは、異なる文化宗教遺産をもつ人々が、それぞれの経験を共有しながら、それぞれの神学研究、教理知識の研鑽、各自の信仰の成熟をはかるため理想的な機会を発見できます。本研究所は、相互理解と尊敬の基礎の上に立って、人々の平和的共生に貢献することを研究活動の使命としています。

本研究所は、つぎの者に門戸を開いています。

- 他宗教について適切な学問的養成を希望するキリスト者。
- 他宗教の信奉者であってキリスト教についての的確な知識を得ようとする者。

本研究所は、つぎの目的をめざします

- 諸文化間および諸宗教間対話について真の専門業につくために専門的資格を取得する。
- 教育関係もしくは司牧関係または教育司牧報関係業務に従事するために諸文化および諸宗教的性格の分野について適切な知識を取得する。
- 異なる宗教の信奉者の間に率直で平和的な学術交流を図るために諸宗教間の友愛を経験する機会を提供する。
- 教会の教理に沿いながら質的に高度な学術的および学問的研究を行うことにより、諸文化諸宗教に関して正しい神学的考察を活性化する。

研究所の学際的特性は、次の通りです。

- グレゴリアン大学内部における神学、哲学、布教学学部  
の協力による教育企画実施
- 「ベア枢機卿」ユダヤ教研究センターとの提携
- 教皇庁イスラーム・アラブ研究所との協力（PISAI）

## 入学許可条件

当研究所の教育計画に参加するには、様々な入学形態があります。

- 学生としてマスター(修士)の資格取得をめざす入学形態  
第二学年終了時の学位、通算4学期(年2学期制)、  
120単位
- 学生として資格証書取得をめざす入学形態  
通算2学期、60単位
- 聴講生として、いくつかの教科科目を選択する入学形態

当研究所の入学許可は、学術資格の有無についての必要資料の提示または個人面接により行う。

キリスト者である学生は、つぎの領域の中から一つの専門分野を選択できる

- ユダヤ教「ベア枢機卿」ユダヤ教研究センター
- イスラーム
- アジアおよびアフリカの諸宗教

しかし、他宗教の学生は、キリスト教専攻とする。

## 歴史

- 現在のグレゴリアン大学(1873)の前身「コレッジ・ロマーノ」(1551)時代のはじめから、本学が追求した目的の中には、全世界の果てまで派遣される者について適切な育成を行うことが含まれていました。
- 第二バチカン公会議以前にも他宗教の専門家がグレゴリアン大学で学び、教えていました。
- 1976年、第二バチカン公会議の指針に基づき、キリスト教 イスラーム教信徒間の「相互理解」を促進するために「ゴルワルディGolwardi」講座を開講しました。
- 1981年、グレゴリオ大学にイスラーム研究に関する学部間プログラムを開設しました。
- 1984年、グレゴリオ大学とイスラーム教の神学部(トルコのアンカラ神学部)間の協約締結。当時から両大学の教授と研究者を交換している。同じ時期から様々な国、特にイスラーム教の国々(エジプト、イラン、インドネシア)の大学と協力する機会が増えました。
- 2001年、「コレジョ・ロマーノ」の450周年周年創立記念に当たり、教皇ヨハネ・パウロ二世の演説。教皇は現代において諸宗教対話の重要性を強調されました。
- 2002年、イエス会第34回総会の要請に基づき、グレゴリアン大学に文化宗教学際研究所(ISIRC)が設立されました。